



2016年2月23日発行



今回の紙面から（ページと内容）

1. 会長挨拶
2. 第9回国際春季フォーラムのご案内
第34回大会のご案内
大会優秀発表賞審査結果報告
3. (Student) Workshopの企画募集
理事会・評議員会より
4. 編集委員会より
大会運営委員会より
5. 広報委員会より
学会賞委員会より
6. 日本英語学会2015年度収支中間報告書
7. 日本英語学会賞と日本英語学会新人賞の募集
事務局より

会長挨拶

会長 大庭 幸男

新しい年を迎え、会員の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、昨年4月と11月にそれぞれ第8回国際春季フォーラムと第33回年次大会が開催されましたので、簡単にご報告申し上げます。まず、国際春季フォーラムは成蹊大学で開催され、3件の招待講演、14件の口頭発表、5件のポスター発表が行われました。多くの会員の方々に参加いただき、盛会裡に終えることができました。運営を支えてくださった開催校の米山三明先生をはじめ同大学関係者および大会運営委員の皆様には大変お世話になりました。心より御礼申し上げます。また、年次大会は関西外国語大学で開催され、5件のワークショップ（うち2件はスチューデント・ワークショップ）、36件の研究発表と7件のシンポジウム（うち1件は公開特別シンポジウム）が行われました。こちらも多くの皆様にご参加いただき、盛会裡に終えることができました。開催校委員・大学関係者および大会運営委員の皆様には大変お世話になり、心より感謝申し上げます。

ところで、昨年の4月より2期目に入りましたので、この10ヶ月間の主な事柄について簡単に振り返ってみたいと思います。まず、本学会のホームページですが、2年間に渡り行ってきた改定作業がようやく5月初旬に完了しました。今回、従来の「会則・会員規定」「顕彰制度」や各種規定等において文言の調整や統一化を図り、「不正行為防止等に関するガイドライン」や「情報管理規定」等を追加し、さらに日本語版に対応した英語版を新たに作成しました。このように日本語版と英語版が完備したことで、本学会に相応しいホームページとなりました。関係者の皆様に感謝申し上げます。

また、昨年度に新設された顕彰制度の大会優秀発表賞が、11月の年次大会の発表論文を対象に本格的に施行されました。6月から大会運営委員会で選考作業が始まり、11月の年次大会時及び12月の大会運営委員会において審議され、「該当なし」という結果となりました。来年度に期待したいと思います。

学会賞関係では、当該委員会で6月から10月まで選考作業が行われ、2件の著書に日本英語学会賞（著書）を、1件の論文に日本英語学会賞（論文）を授与することが決定されました。学会賞は設置当初からなかなか受賞者が出ませんでした。この数年、受賞者が出ています。大変好ましい状況だと思っています。

EL関係では、これまで巻末に添付されていたCD-ROMを12月発行の最新号から撤廃し、その代わりにELそのものをホームページ上で会員向けに公開することになりました。これは、科研費の「研究成果の海外発信」との兼ね合いによるものです。また、これとは別に、J-STAGE（科学技術情報発信・流通総合システム）において、EL第29巻2号の公開作業が9月初旬に完了しました。こちらは、刊行後2年経過したELをオープンアクセス化するもので、これまで第1巻からこの第29巻2号まで全巻収録されています。これらは広報委員会で作業を行っていただいています。また、編集委員会では、通常のEL編集作業の他に、編集日程が変更されました。これによって査読および審査に日程のゆとりがでるようになりました。

韓国英語学会 (ELSOK) 関係では、思いも寄らぬことにより、両学会が開催する大会 (本学会の第 8 回国際春季フォーラムと ELSOK の大会) には相互に講師派遣をすることができませんでした。ELSOK との協定締結は、稲田俊明前会長をはじめ多くの先生方のご尽力によるものです。本学会としては、今後もこの相互交流を継続して行うために、理事会で対応措置を協議し、新たな形で協定を締結することにいたしました。ELSOK にもこの協定にご理解いただき、再度協定を締結することができました。主な改定点は、相互の学会への講師派遣は 2 年ごとにするというものです。それにより、今年 4 月開催の第 9 回国際春季フォーラムには ELSOK から講師 1 名を招聘することになっています。また、ELSOK の大会にも、本学会の会員の方 1 名に派遣を依頼し、発表していただくことになっています。

理事会では、現在、次の 2 つのことが進行中でございます。その 1 つは、海外学会との交流についてです。今回の ELSOK のこともあり、また、科研費への応募にも関係して、海外の学会と更なる協定を結ぶことを模索しています。具体的には、来年度、The International Society for the Linguistics of English との交流に向けて協議する予定になっています。もう 1 つは、終身会員に関することです。終身会員という言葉は「会則・会員規定」には記載されていますが、これに関する規定、細則、申合せ等は整備されていません。現在、策定作業を行っていますので、今年 6 月の理事会でこの規定が承認されますと、来年 4 月から施行できるものと思います。

上記の幾つかは、本ニューズレターでも詳しく書かれていますが、昨年 4 月から現在に至るまで、本学会においてどのようなことが行われてきたかを会員の皆様に理解していただくために、その主な事柄を簡潔に書かせていただきました。

最後に、昨年の 4 月より新事務局体制になりました。学会の発展と円滑な運営のため、一所懸命務める所存でございます。今後ともご協力・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

第 9 回国際春季フォーラムのご案内

第 9 回国際春季フォーラムは次のとおり開催されます。

日時： 2016 年 4 月 23 日 (土)・24 日 (日)

場所： 神戸市外国語大学

(〒651-2187 神戸市西区学園東町 9 丁目 1)
詳細については、同封のプログラムをご覧ください。
また、土曜日夕刻に開催される懇親会の参加費は 2,000 円です。なお、今回のフォーラムは「神戸市外国語大学創立 70 周年記念冠事業」の一つとして、神戸市外国語大学との共同開催で行われます。

第 34 回大会のご案内

第 34 回大会は次のとおり開催されます。

日時： 2016 年 11 月 12 日 (土)・13 日 (日)

場所： 金沢大学 (〒920-1192 金沢市角間町)

会員の方は奮って研究発表にご応募下さい。応募締切は **2016 年 4 月 1 日 (金) 24 時 (必着)** です。応募の際は、学会ホームページ「研究発表応募規定」欄 (<http://elsj.jp/meeting-kitei/>) 掲載の同規定をご確認下さい。「大会(国際春季フォーラム)優秀発表賞」への応募は修士課程在籍者及び、修士課程修了後 10 年未満の方が対象となりますので、奮ってご応募下さい。なお応募規定違反の原稿が見受けられますので、規定の内容をよく読み、遵守して下さいますようお願いいたします。そのうえで、必ず同規定に指定されたメールアドレス宛に、発表内容と研究発表応募用紙 (Excel ファイル) を締切り日厳守にてご送信下さい。研究発表応募用紙は、昨年度のものから変更されていますので、必ず新応募用紙をダウンロードした上でご記入下さい。

第 34 回大会においても「親と子の部屋」を設置する予定です。詳細は、今後学会ホームページや 8 月発行予定のニューズレターでご案内します。

なお今回の大会のため、会員向けの宿泊先を日本旅行金沢支店よりご紹介しています。3 月 1 日より学会ホームページの新着情報にあるリンクから予約可能です。ぜひ早めにお申し込み下さい。

大会優秀発表賞審査結果報告

既にお知らせしましたように、第 33 回大会より優秀な若手の研究発表者を顕彰する制度として、大会優秀発表賞が創設されました。応募資格があり発表賞の審査を希望する応募者を対象に、査読段階の点数による一次審査と、大会当日の発表に対する二次審査が行われました。審査の結果が 12 月に開催された大会運営委員会で審議されました

が、残念ながら今回は「該当者なし」という結果となりました。

国際春季フォーラムについても4月開催の第9回大会から優秀発表賞の審査が行われます。こちらの審査結果は6月後半に学会ホームページ上で公表される予定です。

(Student) Workshop の企画募集

日本英語学会では、会員の自主的な企画・運営により、特定のテーマに関する発表と自由な討論をしていただく場として、ワークショップ／スチューデント・ワークショップ企画を例年募集しています。第34回大会では、11月12日(土)の午前9時30分から11時45分までをワークショップ／スチューデント・ワークショップにあてる予定です。

企画・運営をご希望の方は、学会ホームページ「秋季大会ワークショップ」欄(<http://elsj.jp/workshop>)に掲載のワークショップ企画募集案内をご確認のうえ、2016年3月31日(木)24時までに必着にて、同案内指定のアドレス宛に企画書とワークショップ応募用紙(Excelファイル)を送信して下さい。

理事会・評議員会より

◇ 会計

2015年11月20日に開催されました第71回理事会と第33回評議員会において、日本英語学会2015年度収支中間報告が承認されました。「日本英語学会2015年度収支中間報告書」は、6ページに掲載されておりますので、ご覧下さい。

◇ 役員の異動(含、理事選挙結果報告)

・理事(退任)

2016年3月31日で任期満了となる以下の7名の理事が退任されます。

今西典子氏(東京大学)、内田聖二氏(奈良大学)、大庭幸男氏(関西外国語大学)、岡田伸夫氏(関西外国語大学)、金子義明氏(東北大学)、高見健一氏(学習院大学)、米山三明氏(成蹊大学)

・理事(新任)

郵送による理事選挙が行われ、10月17日に選挙管理委員(岡田伸夫氏、岡田禎之氏)による開票のもと、7名の新理事が選出されました。2016

年4月1日から2年間の任期(再任有り)で理事をお務め戴くこととなります。

杉岡洋子氏(慶應義塾大学)、西岡宣明氏(九州大学)、長谷川信子氏(神田外語大学)、廣瀬幸生氏(筑波大学)、福井直樹氏(上智大学)、丸田忠雄氏(東京理科大学)、鷲尾龍一氏(学習院大学)(五十音順)

なお、家入葉子氏(京都大学)、伊藤たかね氏(東京大学)、大室剛志氏(名古屋大学)、松本曜氏(神戸大学)は、理事2期目となります。

・編集委員会委員長(退任)

加賀信広氏(筑波大学)が2015年11月30日付で退任されました。

・編集委員会委員長(新任)

菊地朗氏(東北大学)が2015年9月1日付で編集委員長に就任されました。任期は2017年11月30日までです。

・大会運営委員長(退任)

高橋英光氏(北海道大学)が2015年12月14日付けで退任されました。

・大会運営委員長(新任)

小川芳樹氏(東北大学)が2015年12月15日付けで大会運営委員長に就任されました。任期は1年間です。

◇ 会員数の変動について

現在の会員数は1367名(12月31日現在)となりました。内訳は、学生会員43名、通常会員1189名、維持会員107名、顧問10名、賛助会員17団体となっております。

◇ 海外学会との交流について

昨年、諸事情によりキャンセルされた韓国英語学会(ELSOK)との交流ですが、交流協定書の補遺の部分を改訂して、相互の大会に隔年で講師や発表者を派遣することに合意しました。これに基づき、4月の第9回国際春季フォーラムには前ELSOK会長のYookang Kim氏をお迎えすることになっていきます。また本学会からも、時崎久夫氏をELSOKの春季大会に派遣することになりました。

理事会ではまた、海外の他の学会との研究交流を進める目的で作業グループを作りました。現在、ヨーロッパに拠点を置くISLE(The International Society for the Linguistics of English)との間で、相互の大会への参加などの交流関係を結ぶべく、話し合いを始めています。

◇ 訃報

本学会の顧問をおつとめになられました太田朗先生（東京教育大学名誉教授）が、2015年12月31日にご逝去されました。日本英語学会へのご貢献に感謝しますとともに、ご冥福をお祈りいたします。なお、obituaryがEL33巻2号に掲載されます。

編集委員会より

◇ *English Linguistics* 刊行スケジュールの変更について

既に前号のニューズレターでもお知らせしていますが、*English Linguistics*は34巻（2017年度発行予定）から刊行日程が変更されます。現在、1号が6月に、2号が12月に刊行されていますが、34巻以降は、1号が9月、2号が3月の刊行となります。

なお、一般論文の投稿締め切りは4月1日と9月20日で変更ありません。

◇ *English Linguistics* 第32巻2号（2015年秋号）の刊行について

EL第32巻2号（秋号）が刊行されました。Article 2編、Brief Article 1編、Notes and Discussion 1編、Review 9編が掲載されています。

◇ *English Linguistics* 第33巻1号（2016年春号）の応募論文の査読結果について

2015年9月20日締切でEL第33巻1号に投稿された一般論文の総数は13編で、その投稿部門と投稿分野の内訳は、Article 8編（Phonology 2, Syntax 4, Cognitive Linguistics 1, Typology 1）、Brief Article 2編（Syntax 1, Semantics 1）、N&D 3編（Syntax 2, Semantics/ Cognitive Linguistics 1）でした。

以下の表は、慇懃によるReview Article 1編およびReview 7編と32巻2号に応募されて「4ヶ月書き直し」と判定され、33巻1号に再投稿された論文2編も含めた、33巻1号の審査結果です。

	応募数	採用	不採用	取り下げ	審査中
AR	8	1	2	0	5
BA	2	1	1	0	0
N&D	3	3	0	0	0
Review	7	6	0	1	0
RA	1	1	0	0	0
4ヶ月書き直し					
AR	2	1	1	0	0
合計	23	13	4	1	5

なお、EL 第33巻1号には、特別企画招聘論文1編も掲載予定です。

◇ *English Linguistics* 第33巻2号（2016年秋号）への投稿について

2016年12月発行予定のEL第33巻2号（秋号）の原稿締切は、**2016年4月1日（金）24時（必着）**です。

応募される方は、学会ホームページに記載されている投稿規定及び書式に関する注意事項を通読され、**最新版の規定に則って作成して英語母語話者によるチェックを受けた原稿**をご投稿下さいませよう、お願い申し上げます。

◇ 2015年度 EL論文賞について

EL第27巻より、*English Linguistics*に掲載された論文（ARとBA）で優れたものに「*English Linguistics* 研究奨励賞」を授与することが決定され、2014年度から改称されたEL論文賞について、2015年度は2014年9月20日締切のEL第32巻1号（2015年6月刊行済み）と2015年4月1日締切のEL第32巻2号に投稿され、すでに採用となったAR 3編、BA 3編合わせて6編について、先ず、分野別1次審査を行いました。審査対象となった論文の分野は、Phonetics/ Phonology 1編、Syntax 5編です。1次審査結果を踏まえ、EL論文賞候補論文を3編に絞り込み、現在「最終選考委員会」で、最終選考中です。最終選考で決定された2015年度「EL論文賞」は、2015年3月中に受賞者にお知らせします。受賞論文の執筆者は、EL投稿時の年齢（あるいは研究歴）に即して、2016年度の日本英語学会賞（論文）と日本英語学会新人賞への応募の有資格者となります。

◇ preprintの公開について

*English Linguistics*への投稿原稿（preprint）を個人のホームページ等に掲載することに関してガイドラインが定められています。詳しい内容については、学会ホームページをご覧ください。

大会運営委員会より

◇ 大会運営委員会の構成

昨年12月より大会運営委員会の構成は次のようになりました。

（委員長）小川芳樹氏

（副委員長）本間伸輔氏

（委員）森田順也氏（国際春季フォーラム実行

委員長)、小畑美貴氏、澤田治氏、山本武史氏、柴崎礼士郎氏(国際春季フォーラム実行副委員長)、中尾千鶴氏、堀田優子氏、吉田悦子氏[以上留任]鈴木亨氏、鈴木敬了氏、島田雅晴氏、都築雅子氏、秦かおり氏[以上新任]

◇ 第34回大会シンポジウム企画について

現在準備が進行中です。詳しい内容は次号『え〜ごがく』65号でお知らせいたします。

◇ JELS 33 について

JELS 33 は CD-ROM 化して今回のニューズレターに同封しております。

◇ 第33回大会の報告

第33回大会は、2015年11月21日(土)・22日(日)の両日、関西外国語大学にて開催されました。本大会では、公開特別シンポジウム1件、シンポジウム6件、研究発表36件、ワークショップ3件、スチューデント・ワークショップ2件が行われました。大会2日間の参加受付数は431名で、盛会裡に終えることができました。今回も各出版社から書籍の展示をしていただき、本大会では22社の展示がありました。大会運営を支えて下さった開催校の先生方、参加された会員諸氏のご協力に対して、心より御礼申し上げます。また、今回も大会運営に関する貴重なご意見を多数いただきました。誠にありがとうございました。今後の大会運営の参考にさせていただきます。

◇ 「JELS 原稿参考例」の改定について

JELS 投稿用の原稿サンプルを和文、英文ともに改定し、ホームページ(<http://elsj.jp/jels/jels-kitei>)に掲載しました。同ページに掲載されている「JELS 原稿作成上の注意」と合わせ、投稿前には最新の書式をご確認下さい。

広報委員会より

◇ J-STAGE での EL オープンアクセス化について

広報委員会では、J-STAGE(科学技術情報発信・流通総合システム)での EL オープンアクセス化と公開作業に取り組んでいます。平成28年1月末日現在、EL 第29巻2号(2012)まで公開されており、発行後2年を経た巻号について今後も同様に

作業を進めていく予定です。以下の URL をご参照下さい。

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/elsj>

◇ 日本英語学会ホームページにおける EL 電子化について

EL 最新刊 PDF 版の会員向け公開に向けて作業を進めてきました。平成28年2月12日より *English Linguistics Online* の名称で公開を始めています。現在、2015年度の EL 第32巻1号と EL 第32巻2号の掲載論文をダウンロードしていただけます。以下の URL をご参照下さい。

http://elsj.jp/english_linguistics-eng/english-linguistics-online/

なお、EL Online へのアクセスには、お手許の印刷版 EL 第32巻2号の裏表紙内側にあります ID とパスワードが必要ですが、ID の中にあるアンダースコア()を削除して入力していただくようお願いいたします。

学会賞委員会より

◇ 2015 年度学会賞選考結果報告

2015 年度学会賞委員会(伊藤たかね(委員長)、長谷川信子(副委員長)、加賀信広(第16期編集委員会委員長)、菊地朗(第16期編集委員会副委員長)、梅原大輔(日本英語学会事務局長))のもとに実施されました。2015年4月1日から5月31日の応募期間内に、学会賞(著書)には著書5編、学会賞(論文)には2014年度 EL 論文賞受賞論文2編が応募されました。新人賞には応募がありませんでした。

学会賞(著書)については6月上旬から10月下旬まで審査が行われ、学会賞(論文)については6月上旬から8月末まで審査が行われました。その結果、2015 年度学会賞(著書)は、上野義雄氏(早稲田大学教授)の *An Automodular View of English Grammar*(早稲田大学出版部)と前田雅子氏(九州工業大学講師)の *Derivational Feature-based Relativized Minimality*(九州大学出版会)に、2015 年度学会賞(論文)は、柴崎礼士郎氏(明治大学准教授)の “On the Development of The Point Is and Related Issues in the History of American English”(EL 第31巻1号)に授与することになりました。選考結果は2015年11月21日(土)に開催された日本英語学会第33回大会の

総会において報告され、そこで授賞式が行われました。なお、選考委員を務めていただいた方々の氏名は *EL* 第 33 巻 1 号に掲載される学会賞委員会報告に記載され公表されます。

受賞作の概要と評価は以下の通りです。

学会賞（著書）受賞著書

上野氏の著書は、Automodular Grammar の枠組みで、英語の統語現象を包括的に扱った初めての本格的な研究書です。他の理論的枠組みに対してこの枠組みが優れていることが必ずしも説得的に議論されているわけではないという指摘もありましたが、多岐にわたる統語現象を扱うスコープの広さとそれぞれの現象についての議論の精緻さから、その完成度が高く評価され、他の理論的枠組みにも大きな影響を与えうる労作として、本学会の学会賞にふさわしいと判断されました。

前田氏の著書は、カートグラフィ理論の枠組みで、vP 構造の階層化と素性基盤の派生相対的最小性を提案しています。英語、日本語、イタリア語の豊富なデータに裏打ちされている実証性とフェーズ理論とカートグラフィ理論との融合を試みる独創性が高く評価されました。英語表現や日本語の例文の表記方法の問題、形式面での不備などが散見されることが惜しまれるとの指摘もありましたが、若手研究者の今後の発展が見込まれる意欲的な著作として学会賞にふさわしいとの結論を得ました。

学会賞（論文）受賞論文

本論文は、*the point is* という構文の史的变化と文法化について、大規模コーパスを用いて、詳細な実証的検討を行った論文です。考察対象が特定表現に限られているという点でテーマの広がりには限界があるものの、言語変化を談話機能の側面から分析している点、また文法化の単方向性への問題提起がなされている点などが、意欲的な論文として高く評価されました。

日本英語学会賞と日本英語学会 新人賞の募集

2016 年度の日本英語学会賞（著書）、日本英語学会賞（論文）、日本英語学会新人賞の応募方法と応募期間は以下のとおりです。

・ **応募方法**：必要な書類を日本英語学会ホームページよりダウンロードし、必要事項を記入のうえ下記の指定メールアドレスに送信して下さい。

日本英語学会賞（著書）：award-b-obo@kaitakusha.co.jp

日本英語学会賞（論文）および日本英語学会新人賞：

award-a-obo@kaitakusha.co.jp

・ **応募期間**：2016 年 4 月 1 日より 5 月 31 日まで

・ **その他**：日本英語学会のホームページにあります応募規定を熟読のうえご応募下さい。不明の点は事務局宛（elsj-info@kaitakusha.co.jp）に電子メールにてご連絡下さい。

事務局より

◇ 会費納入のお願い

会費未納の方は、学会支援機構から送られます振込用紙で納入して下さいますようお願いいたします。2年間滞納されますと、会則第8条第4項により、自動的に退会扱いになりますので、ご注意ください。

◇ 学生会員登録（継続会員）について

2016年度に学生会員として登録（2015年度からの継続）を希望される方は、以下の要領でお申し出下さい。申告期間の終了後に2016年度の会員種別を確定し、会費請求をいたします。

学生会員登録は年度ごとの登録で、自動更新ではありません。申告期間内にお申し出がない場合には、通常会員として会費請求がなされますのでご注意ください。特に年度末の2月・3月に学生会員として新入会された場合も、新年度には改めて申告をしていただくようお願いします。

・ **申告資格**：次の①もしくは②の条件を満たす会員
①大学など学校の「学生」の資格をもつ会員。

②研究生・聴講生・専任の勤務を持たない大学院修了者、および外国の大学の日本校の学生。

・ **申告期間**：2016年4月1日～4月25日（必着）

・ **申告方法**：会員番号・氏名・4月以降に在籍する学校の名称を記した用紙に、4月以降に学生であることを証明する以下の(1)から(4)のいずれかの書類を添付し、事務局宛（宛先は奥付参照）に「学生会員登録希望」と必ず朱書きのうえ、郵送して下さい。

(1) 在学する学校の発行する在学証明書

(2) 学生証のコピー

(3) 進学する学校・課程の合格通知書のコピー

(4) (元)指導教員（所属明記）の署名（捺印）と証明の言葉

専任の勤務先を持たない大学院修了者は、(4)の方法により書類を提出して下さい。申告されたのちに変更が生じた場合や不明な点がある場合には、事務局（elsj-info@kaitakusha.co.jp）にご連絡下さい。

◇ 学生会員登録（新規入会）について

年度途中で学生会員として新規に入会される場合には、上記の学生会員登録と同じ要領で申し込むことにより、申告期間にかかわらず、いつでも初年度から学生会員として登録ができます。この措置は、新規入会者のみに認められるものですのでご注意ください。

詳しくは、学会ホームページをご確認下さい。

◇ EL、JELS への論文投稿に関するお願い

EL、JELS に論文を投稿される際には、日本英語学会ホームページに掲載されております「*English Linguistics* 投稿規定」「JELS 投稿規定」をよくお読みいただき、規定を遵守したうえで投稿されるようお願いいたします。編集委員会あるいは開拓社宛に投稿・通知する場合には必ず指定されている宛先のアドレスに送信して下さい。開拓社から送られる受領確認用の自動返信メールアドレスに送信されても受理できません。

EL に関して、編集委員会あるいは開拓社宛に投稿・通知する場合には、メールの件名およびメール本文には「*English Linguistics* 投稿規定」ページ末尾の「投稿論文の EL 掲載までの手順案内」の表で指定されている情報を必ず明記して下さい。

JELS や所属機関の working papers 等に掲載され

た研究（の一部）を発展させて *EL* に投稿する場合には、論文審査が公平で厳正に行えるよう、投稿者自身のこれまでの関連する研究論文の情報は必ず記載して下さい。なお、相互に匿名による審査体制であることに留意し、本文等でそれらに言及するときには、3 人称表現をご使用下さい。

◇ *EL*掲載論文の再録やレポジトリへの登録に関するお願い

*EL*に掲載された論文の著作権は日本英語学会にあります。そのため、*EL*に掲載された論文を他のジャーナルや著書に再録する場合には、本学会の許可が必要です。再録をご希望の場合には、事務局宛 (elsj-info@kaitakusha.co.jp) にお知らせ下さい。

また、各大学で「学術情報レポジトリ」や「電子アーカイブ」に*EL*に掲載された論文を登録することを希望される場合、事務局までお知らせ下さい。日本英語学会では、発行後2年以上経過した論文の登録をお認めしています。無断での再録・登録は著作権侵害となりますので、ご注意願います。

◇ *JELS*掲載論文の再録・登録に関するお願い

*JELS*掲載論文についても、再録および学術レポジトリや電子アーカイブへの登録や個人のウェブサイトへ掲載の場合には、*EL*掲載の論文と同様に、事前に事務局まで (elsj-info@kaitakusha.co.jp) お申し出下さい。

*JELS*掲載論文については、発行後1年を経過したものについては、申し出があれば再録や学術レポジトリなどへの掲載をお認めしています。

◇ *EL*公費購入のお願い

ご所属の大学図書館や研究室で *EL*を購入されていない場合には、ぜひ購入の手続きをしていただきたく存じます。*EL*がより多くの研究者に知られるだけでなく、本学会の運営にも益するところがありますので、よろしくお願いいたします。

◇ 電子版投稿・審査体制に関連するお願い

研究発表応募、*EL*への投稿、および学会賞・新人賞への応募の電子化に伴い、学会から会員の方々への連絡は電子メールで行っています。所属の異動等に伴い連絡用アドレスの変更がある場合には、学会にもお知らせいただきますようお願いいたします。

なお、事務局あるいは各委員会からメールで連

絡を差し上げた際の返信につきましては、通常1週間の余裕をみてお願いしておりますので、その期間内にご返信をいただけますようご協力下さい。

◇ 連絡先等変更のご連絡のお願い

メールアドレスや住所等の連絡先、及び所属に変更が生じた場合には、速やかに学会支援機構にご連絡下さい。連絡方法については、学会ホームページをご覧ください。

編集後記

第33回の全国大会には多数の会員の皆さまにお集まりいただきありがとうございました。昨今話題となっている海外からの旅行客の急増のためか、紅葉シーズンの連休と重なったためか、宿泊先の確保が相当難しかったと聞いています。この反省もふまえ、今秋の金沢での大会に向けては、会員向けに宿泊施設のご案内をすることとなりました。学会ホームページの新着情報にあるリンクからご予約いただけます。部屋数に限りがありますが、この機会に早めの宿の確保をしていただければと思います。

昨年5月に事務局を引き継いで以来、慌ただしい時を過ごしてきました。未だに戸惑うことも多いですが、会員の皆さまの研究活動や相互の交流のためにお手伝いできればと願っています。学会の運営に関してお気づきの点、ご要望やご提案がありましたら、ぜひ事務局宛に電子メールでお知らせ下さい。

(D.U.)

2016年2月23日発行

編集・発行 日本英語学会

代表者 大庭 幸男

発行所 日本英語学会

<http://elsj.jp/>

〒113-0023

東京都文京区向丘 1-5-2

開拓社内

電話 (03) 5842-8900
